



二美町2丁目町会発足50周年

村岡 康三

50周年記念行事盛大に

二美町2丁目町会は昨年の10月1日で町会発足50年を迎えました。町会公民館の敷地内に笹賀地区歴史の会が設置した「二美町の誕生」の案内板によれば、「昭和40年(1965)頃より、旧松本市内から郊外に移り住む、いわゆるドーナツ化現象が起り始めた。それに応えて県や市は、下二子に住宅団地計画を設定し、区域を定めて宅地造成を行い始めた。市内の団地造りでは初期の取り組みであった。42年4月から入居が始まり、10月1日には二美町の1丁目、二丁目、三丁目の町会が発足し、10月21日に正式に笹賀地区の町会に加入した。

町名の二美町は、二子の美しい里を意味し、公募により名付けられ、一丁目と二丁目



町会発足50周年記念祝賀会

町会に分かれた。43年度の入居終了時には約800世帯になり、大きな町会になった。」と書かれており、町会誕生のいわれを再認識出来ました。

5月より実行委員会を立ち上げ、行事の内容や記念品などの検討をし、小委員会では「50周年のあゆみ」のパンフレット作成をしました。

11月12日(日)に50周年祝賀会を行い、午前中は「笑い

工学ちえの出し所所長」の百瀬丘先生をお招きし、「大人も子供もみんなで笑おう」と題して実験とクイズを開催しました。実験コーナーではマインスイーパー200度近い液体窒素の中バナナ、ボール、花などを入れ、凍った物を交代で金づちでたたきバラバラになったのを見て「わあ」と驚いたり、楽しい実験に皆が夢中で参加していました。

午後2時から公民館で祝賀会を開催し、来賓や歴代の町会長とご家族の方にもご出席いただき、今日までの町会の歴史をスクリーンで振り返り「そんなこともあったね」「もう50年もたったんだね」と言い交し親睦を深めました。現町会長から歴代町会長やご家族の皆さんに感謝の言葉と記念品が贈呈されました。



液体窒素を使つての実験コーナー

12月までに記念品として「航空写真入りカレンダー」や「町会発足50周年のあゆみのパンフレット」などを全戸配布することが出来ました。

町会も高齢化が急速に進み、空家も増えてきました。益々隣組の見守りが重要となり、機会あるごとに声かけを實踐し、安心・安全な町づくりに近づける様にあゆみ続けます。

町内公民館の活動

私たちの町会の主な公民館活動としては、ふれあい健康教室・公民館居酒屋・三世代交流ふたみっ子ひろば・ふれあいサロンカラオケ・卓球・健康マージャン・ソフトバレー・グラウンドゴルフ大会・夏祭り・ヨガ教室・敬老会・三九郎などがあります。中でも「公民館居酒屋」は、松本市の中で先駆けとして活動を始め、今ではいくつもの町会でも広がっています。

ことの発端は、「男性をもっと町会や公民館活動に呼び込めないか」ということから、公民館居酒屋はどうか?という当時の公民館長の提案で、町会長の協力のもと平成20年11月に第1回公民館居酒屋



居酒屋「よってけや」100回記念

「よってけや」が開催されることになりました。

毎月第4土曜日の18時30分より、女性ボランティアの方々による手料理に舌鼓をうちながら、集まってきた皆さんと楽しく談笑したあとは、カラオケをして盛り上がっています。その公民館居酒屋も、昨年3月に100回記念式典を大勢の皆さまと迎えることが出来ました。この公民館居酒屋を開催したことにより、町会の課題や改善点のアイデアが生まれたり、町会活動が活発になったりと、プラスのことが増えました。これからも町会のコミュニティの場所として、様々な公民館活動を行っていければと思います。

もちつき大会



12月10日(日) 毎年恒例の子ども会育成会主催のもちつき大会が行われました。このもちつき大会は、各家庭では少なくなつたもちつきを子どもが体験することで、楽しみながら日本の伝統文化・食文化への理解を深めることを願ひ、開催されています。

例年会場として使用している笹賀公民館が大規模改修中のため、今年の開催が危ぶまれていましたが、松本短期大学のご厚意により会場をお借りすることができました。冷たい風が吹き抜けるなか、親子合わせて100名以上が集まりました。

大人たちがある程度のところまでもちをついた後は、子どもたちの出番です。子ども



たちは列に並んで、順番にもちつきを始めました。大人に支えてもらいながら杵を振り下ろす子どももいれば、「ぼくひとりのできるよ」とがんばる子どもの姿もありました。「おもちつてごはんからできるんだね」と驚く子どももありました。「お手伝いしない子は、おもちを食べられないんだよ」と、そんな伝統を伝える大人の姿もありました。

おもちをついた後は、自分たちで、きなこ、ごま、あんこの味付けをして、みんな一緒に食べました。やっぱり自分たちでつくったおもちはとてもおいしかったようです。

今日初めてもちつきをした子どもたちが、何十年かあと、自分の子どもや孫たちにもちつきを教える姿があれば、とても素敵なことだと思います。

平成30年がスタート 笹賀地区 新年祝賀会

平成30年を迎え、恒例の地区新年祝賀会が、1月6日に開催されました。

会場となったJ A笹賀支所2階会議室には、町会連合会や農業関係団体、教育や行政関係機関の代表者など70余人が集まり、賀詞を交換し、地域の更なる発展や交流の促進などを語りあいました。

松井清笹賀地区町会連合会長は、「松本市は市政110周年を迎え、その記念事業として6月には全日本花いっぱい松本大会、10月1日には第1回松本マラソンなど、笹賀地区の皆さんにも積極的に参加いただき、大きな盛り上がりを見せた。世界情勢が混沌の様相を深める中で、従来の経済重



視の考え方から、地域が一体となつて、生きがい大切に、互いに協力し合い、暮らしの質を高めあう地域づくりへの取り組みが求められるようになつた。少子高齢化が加速するなか、安全で安心な、思いやりのある地域作りに向けて皆さんの協力をいただき、地域が一丸となつて、今後も取り組みを強めたい」と主催者を代表してあいさつしました。

矢嶋明 J A松本ハイランド 笹賀地区担当理事は、地区内の農業団体を代表し、「農業人口の急激な減少、食糧需給率の益々の低下が進むなど、農業を取り巻く環境は益々厳しくなるが、農協では、地域の食と緑を守ろう」を目標に掲げ、笹賀地区が緑豊かなふるさとであり続けるよう活動している。幸い笹賀地区では認定農業者も増え、現在は荒廃農地がないが、将来を見据えた農業を継続していくためには、地区全体のご協力が不可欠だ。地域が抱えている課題と農業が密接な関係にある中で、共に地域交流を深めたい」とあいさつしました。

また、来賓としてあいさつに立った村上幸雄市議会議員は昨年を振り返る中で、第1回松本マラソンには笹賀地区

平成30年松本市成人式

1月7日(日) 松本市総合体育館で平成30年松本市成人式が開催されました。

今年の対象者は平成9年4月2日〜平成10年4月1日生まれの方で、笹賀地区では、109名(男性51名、女性58名)が晴れて成人を迎えました。おめでとうございます。

からも多くの走者やボランティア参加、沿道での応援があったことへの感謝などのほか、県の総合防災ヘリの痛ましい事故に触れ、「昨年は風水害や事故など、災害の多い1年だった。防災ヘリ事故では、かつて自分の部下だった隊員も犠牲になった」と悲痛な表情で述べられ、今年が事故のない明るい一年となるようにと締めくくりました。

乾杯後、普段はあまり意見交換する機会の少ない町会や公民館関係者、農業関係、民生委員、教育機関等の代表者が懇親を深めました。

